

茶室提案 計画図

三畳半（如庵写し）と八畳茶室のある住宅

縮尺：1/70

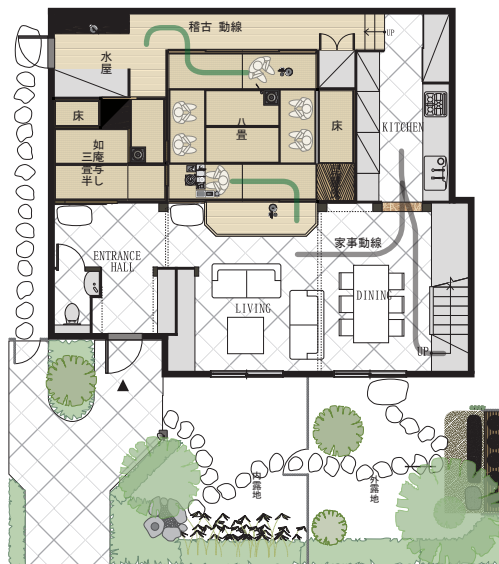
- 『国宝茶室のコンセプト』織田有楽好みとされる国宝『如庵』写し
- ・生涯数寄者として生きた有楽の茶室は、慣習にとらわれず、自由な作意に満ちている
  - ・『光と影』の美しい竹を詰打した有楽窓、杉板を火灯形に吹抜いた風炉先など、自然素材の心地よさを、もてなしのための創意工夫とした
- 『住居インテリア』
- ・リビング、ダイニングの床は土間仕上げ（砂岩貼り）とし、壁は土の素材感をたっぷり表現したコテ塗り仕上げ
  - ・リゾートなど、癒しの空間などによく使われる南欧テイスト 『光と影』に包まれた優しい空間



想定敷地面積：約58坪  
一階床面積：約30坪

広間、小間での茶事／茶会の動線

普段／お稽古の動線



——— 亭主動線   
 ——— 茶事客動線   
 ——— 稽古動線   
 ——— 家事動線